

# サロプト

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会猿払分科会だより



事務局：浜鬼志別小学校  
01635-2-3253 2-3285  
2014. 5. 23 No1

★オホーツク海を眺める人口約 2800 人の猿払村。日本一の水揚げ量を誇るホタテを中心とした漁業、広大な大地を生かし自然と調和した酪農業が村の基幹産業です。

★猿払村という地名は、アイヌ語の「サロプト」「サラブツ」から転化したもので『葦（芦）川口』『葦（芦）原の河口』を意味しています。

## 9/26は猿払村へ！

青く輝くオホーツク海と、広大な緑の牧草地に代表される猿払村では、このたびの宗谷プレ大会で二つの分科会が開催される運びとなりました。

浜鬼志別小学校（第一分科会）は国語の公開です。今年度は教職員数も増え、日々職員室が子どもたちの話題で熱気にあふれています。15 名前後の「大規模複式校」でもあり、自力解決学習の追求が目玉です！

第二分科会は浜猿払小学校を会場に近隣の芦野小・浅茅野小の三校集合学習を公開します。このとりくみはすでに12年となり、複式小規模校の子どもたちの社会性の伸長や大人数での学習経験を保障する貴重な場となっています。当日は体育と音楽で子どもたちののびのびとした姿をご覧ください。

宗谷管内唯一の複数開催ということもあり、村では実行委員会が中心となり教育関係者が一丸となって準備を進めています。

9月26日はぜひ全道各地からのお越しをお待ちしております！

猿払分科会実行委員長 舘野 薫



◎第1分科会（浜鬼小会場）

【研究主題】  
自ら学び、基礎基本を身につける子どもの育成

【公開Ⅰ】  
4年生国語（単式） 高橋 哲雄

【公開Ⅱ】  
5・6年生国語（複式）杉本 旬

【研究発表者】  
三野宮公恵

【浜鬼志別小学校  
へのアクセス】

●稚内方面から  
セイコーマートを過ぎて  
坂を登り切った右手に

●浜頓別方面から  
さるふつ道の駅（風車が  
目印）を過ぎてしばらく  
直進し左手に

◎第2分科会  
（浜猿小会場）

【研究主題】  
小規模校で児童を変容させるための集合学習はどうあるべきか

【公開Ⅰ】集合学習体育  
T1：長江宣明（浜猿小） T2：氏家資年（芦野小）  
T3：平沼 龍（浅茅野小）

【公開Ⅱ】集合学習音楽  
T1：高橋和佳子（浅茅野小）  
T2：八鍬一兵（芦野小） T3：長江宣明（浜猿小）  
【研究発表者】 氏家資年（芦野小）



【浜猿払小学校  
へのアクセス】

●稚内方面から  
シェルターを過ぎ、大きな川を渡って信号交差点を左折

●浜頓別方面から  
浜猿払の信号交差点を右折



至浜頓別